



グナル・ブルンディーン (Gunnar Brundin)

現役職

ローバツフォッシュ (Robertsfors) 自治体の持続可能な発展計画に基づき同自治体の包括的な持続可能性管理制度を構築するプロセス責任者。管理制度は国際規格である ISO 9001 (品質), ISO 14001 (環境) OHSAS 18001 (労働衛生) の3規格を基本にしています。(パートタイム)

スウェーデン国立検査・研究所 (SP Swedish National Testing and Research Institute)、監査役 (パートタイム)

エーサム (Esam) 社、社長

持続可能なスウェーデン協会、理事

プロフィール

1980年代にスウェーデンのエコ自治体運動をトルビョーン・ラーティ (Torbjörn Lahti) 氏と共に起こし、20年以上エコ自治体の仕事をしてきました。現在は二人が共同で設立した環境教育・コンサルティング会社エーサム (Esam) 社の社長を努めています。エーサム社の仕事としてスウェーデンの約半分の自治体で研修を行い、約60のエコ自治体の発展を支援してきました。研修は環境教育団体「ナチュラル・ステップ」のコンセプトを基本にしています。そのコンセプトは環境問題に直面した時に利用できる、自然科学に基づくコンセンサス方式の枠組みです。2004年以来、同コンセプトを基本にした持続可能な発展計画を採択している先駆的な取り組みをしているローバツフォッシュ自治体 (人口7000人) の発展計画の責任者として品質、環境、労働衛生の管理を統合させた管理制度の開発に取り組んでいます。

1999年以来、国際規格である ISO 9001 (品質)、ISO 14001 (環境) の監査役として活躍し、200以上のスウェーデンの会社や組織の監査を行ってきました。管理制度が詳しく、スウェーデンの CSR 活動 (企業の社会的責任) についても詳しいです。

1976年の時から様々なかたちでスウェーデンの環境保護運動に関わってきたので世界的に「環境先進国」として知られるようになったスウェーデンの歩みを、運動の参加者の一人としてよく見てきました。

グナル・ブルンディーン氏はスウェーデン中心部のウップサラ市で生まれ、最初の職業は体育の先生でした。その後、経済学を専門に大学院を卒業しスウェーデン北部のウーメオ (Umeå) 市に引っ越しました。同市では環境と衛生監視官の資格を取得し、1987年、ソシエレ (Sorsele) という北部の自治体の環境部部長の職につきました。同自治体はスウェーデンの最初のエコ自治体グループに入っていた先駆的な自治体の一つでした。

1990年、トルビョーン・ラーティ氏と一緒にエーサム社を設立し、同社での仕事は、エコビルジ、住宅、ウーメオ市エコシティプロジェクト、エコロジー建築、廃棄物処理、建材再利用プロジェクトなどに関わるものでした。またウーメオ市とスウェーデンエコ自治体協会の提携で「アジェンダ21ガイド」という計画ツールを使い講師、アドバイザーを努めてきました。そのツールでは、豊かな生活の狙いと民主主義を組み合わせる持続可能性を目指します。ウーメオ大学の「エコ計画、建築、住宅コース」の講師としてもよく活躍してきました。

Esam AB (エーサム株式会社)

1990年設立。本部はウーメオ市にあり、ストックホルム市にも支部がある。持続可能な発展の分野において人材の能力アップを支援するサービスを提供 (環境教育、管理制度の導入、戦略的アドバイス、ネットワーク構築、持続可能な発展と環境の分野でのノウハウ輸出支援など)。持続可能なスウェーデン協会の重要な会員である。

<http://www.esam.se>

持続可能なスウェーデン協会 (Sustainable Sweden Association)

持続可能なスウェーデン社会の実現に向けて取り組んでいる企業・団体の協力組織。

持続可能なスウェーデン協会は、持続可能な社会のビジョンをもって、非営利の会員組織として2000年に設立された。会員は共通の認識をもって先駆者として持続可能性に向けた社会変革プロセスに貢献をしようとしている。協会の会員は1997年以来、学びの交流を目的とする「持続可能なスウェーデン・ツアー」を開催している。